

製品名: NFkB p105/p50 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87472**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:105 kDa; Observed MW:105,50 kDa

抗原情報

遺伝子名	NFkB p105/p50
別名	p50; KBF1; p105; EBP-1; CVID12; NF-kB1; NFkB-p50; NFkappaB; NF-kappaB; NFkB-p105; NF-kappa-B
遺伝子 ID	4790, 18033, 81736
SwissProt ID	P19838, P25799, Q63369
免疫原	ヒト NFkB p105/p50 の合成ペプチド

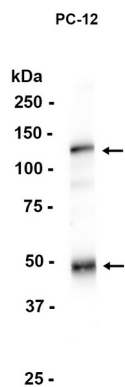
背景

この遺伝子は 105 kD のタンパク質をコードしており、このタンパク質は 26S プロテアソームによる共翻訳プロセッシングを受けて 50 kD のタンパク質を生成します。105 kD のタンパク質は Rel タンパク質特異的転写阻害因子であり、50 kD のタンパク質は NF- κ B (NFKB) タンパク質複合体の DNA 結合サブユニットです。NFKB は、サイトカイン、酸化フリーラジカル、紫外線照射、細菌またはウイルス産物など、さまざまな細胞内外刺激によって活性化される転写制御因子です。活性化された NFKB は核に移行し、さまざまな生物学的機能に参与する遺伝子の発現を刺激します。NFKB の不適切な活性化は多くの炎症性疾患と関連付けられており、NFKB の持続的な阻害は不適切な免疫細胞の発達や細胞増殖の遅延につながります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成され、そのうちの少なくとも 1 つはタンパク質分解によってプロセッシングされます。
[RefSeq 提供、2016 年 2 月]

研究分野

-

画像データ



NF κ B p105/p50 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。